SRS-T1PC.3-859-402-01 (1)1

故障かな?と思ったら

 症状	原因	処置
 音が割れる。	入力信号が大きすぎる	接続した機器の音量を下げる。
音が小さい、または音が出ない。	POWER スイッチがOFFになっている。	POWERスイッチをONにする。
		入力コードを確実に接続する。
	 入力信号が小さすぎる。	接続した機器の音量を上げる。
	接続した機器のAVLSがONになっている。	AVLSをOFFにする。

以上の処置を行っても改善されない場合は故障と考えられます。 お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

正しくお使いいただくために

電源について

DC 6V(単3形乾電池4本)または家庭用電源コン セント(付属のACパワーアダプター使用)で動作 します。

置き場所について

次のような場所は避けてください。

- ・直射日光のあたる所、暖房器具の近くなど、温 度の高い所。
- ・窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。
- ・風呂場など、湿気の多い所。
- ・ほこりの多い所、砂地の上。
- ・時計、キャッシュカードなどの近く。(防磁設計 になっていますが、録音済みテープや時計、 キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、 スピーカーの前面に近づけないでください。)

汚れたときは

柔らかい布でからぶきしてください。シンナー、 ベンジン、アルコールなどは使わないでください。

異常や不具合が起きたら

内部を開けずに、お買い上げ店、またはソニー サービス窓口にご連絡ください。

乾電池についてのご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそ れがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- ・新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の 違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

- ・乾電池は充電できません。
- ・長い間乾電池を使わないときは、取り出してお いてください。万一液もれが起こったときは、 電池入れについた液をよくふき取ってから新し い乾電池を入れてください。

安全上のご注意

DC IN 9Vジャックには異物を入れないようご注 意ください。

モニター画面にむらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型のため、モニ ターのそばに置いて使うことができますが、モ ニターの種類により色むらが起こる場合があり ます。

色むらが起きたら

いったんモニターの電源を切り、15分~30分後 に再びスイッチを入れてください。

それでも色むらが残るときは

スピーカーをさらにモニターから離してくださ L1.

さらに

スピーカーの近くに磁気を発生するものがない ようにご注意ください。

スピーカーとの相互作用により、色むらを起こ す場合があります。

磁気を発生するもの

ラックや置き台の扉に装着された磁石、健康器 具、玩具などに使われている磁石など。

主な什様

アンプ部 実効出力

λカ

0.2W+0.2W+1.6W (EIAJ*)

IBB回路内蔵

ステレオミニプラグ付き入力 コード(1.5m)

入力インピーダンス 4.7kΩ (1kHz)

スピーカー部

型式

ウーファー + ツィーター 後面開放型

ウーファー部 使用スピーカー直径 65mm(モ ノラル)

ツィーター部 使用スピーカー直径 16mm

雷源部・その他

雷源 乾電池持続時間 DC 9V / 単3形乾電池4本 (TOTAL 10mW出力時) 約15時間(ソニー乾電池R6P

使用時) 約30時間(ソニーアルカリ 乾電池LR6使用時)

防磁グレード グレード2(EIAJ*) 最大外形寸法 約143×107×33mm

> (閉じた状態)/約170×120× 70mm(使用時)

(幅/高さ/奥行き)

質量 約260g(乾電池含まず)/ ご使用時約350g(乾電池含む) 付属品

 $AC \mathcal{N} D - \mathcal{P} \vec{\mathcal{V}} \mathcal{V} - (1)$ 取扱説明書(1)

取扱説明書(安全のために)(1)

保証書(1)

ソニーご相談窓口のご案内(1) 別売リアクセサリー 接続コードRK-G138(ステレオ

> 2wayプラグ↔ステレオミニ ジャック、3m)

プラグアダプターPC-234S (ステレオ標準プラグ←→ステレ

オミニジャック) PC-236MS(ミニプラグ↔ステ レオミニジャック)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更す ることがありますが、ご了承ください。

*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、 お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りくだ
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのう え、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べくだ さい。

それでも具合いの悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口 のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口に ご相談ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ 東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただ きます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望 により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用 性能部品(製品の機能を維持するために必要な部 品)を、製造打ち切り後最低6年間保有していま す。この部品保有期間を修理可能の期間とさせて いただきます。保有期間が経過したあとも、故障 箇所によっては修理可能の場合がありますので、 お買い上げ店か、サービス窓口にご相談くださ い。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業 省の指導にもよるものです。

SONY

3-859-402-02(1)

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、

製品を安全にお使いください。 お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管して ください。

SRS-T1PC

Sony Corporation © 1996 Printed in Philippines

主な特長

SRS-T1PCは、手軽に持ち運びできるノートブッ クPC用のスピーカーです。パーソナルコンピュー ターやCD-ROMドライブ、MIDI音源などをつな いで迫力ある音で聞くことができます。

使う場所を選びません

屋外では乾電池 (6V) で、屋内では付属のACパ ワーアダプターを接続して家庭用AC100V電源で 使える2電源方式。

豊かでひろがりのある音を楽しめます

- ・臨場感豊かなウーファーと、収納可能な左右の ツィーターにより1BOXながらステレオ音声。
- ・再生音量にかかわらず豊かな低音に補正するIBB (Intelligent Bass Boost) 機能。
- ・後面開放により広がりのある音場を再現。

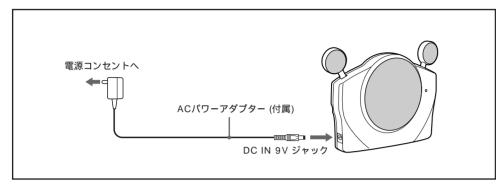
テレビのそばにも置けます

テレビやモニターのそばに置いても画面に影響を 与えることが少ない防磁型設計(防磁型/EIAJ*)。

*日本電子機械工業会の略称です。

電源について

電源コンセントにつないで使うには



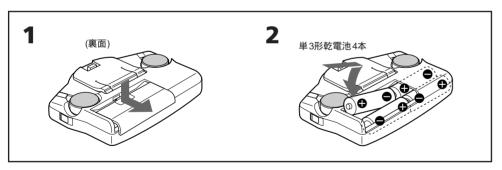
本機にACパワーアダプターをつなぐと、乾電池が 入っていても自動的にコンセントからの電源に切 り換わります。

ご注意

付属以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



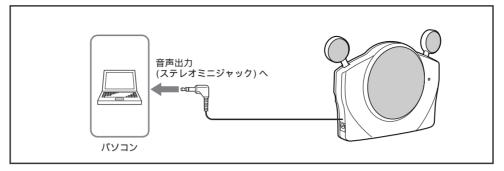
乾電池(別売り)で使うには



乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると、POWERランプのちら つきが多くなり、暗くなってきます。また、音が ひずんだり、雑音が多くなったりします。 このときは、乾電池を4本とも新しいものと交換してください。乾電池の持続時間は「主な仕様」をご覧ください。

接続

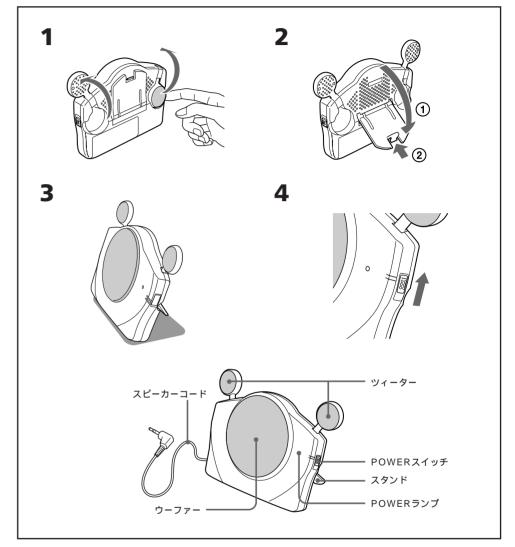


標準タイプのヘッドホンジャック(カセットデッキなど)につなぐには

別売りのプラグアダプターPC-234S、または接続 コードRK-G138をお使いください。 右スピーカーから音がでないとき(ラジオなどの モノラルジャックにつないだとき)は

別売りのプラグアダプターPC-236MSをお使いく ださい。左右のスピーカーから音がでます。

使いかた



- 1 左右のツィーターを立てる。
- **2** スタンドを開き、図のように押し込んで固定する。
- 3 本体を立てる。
- 4 POWERスイッチをONにする。

聞くときは

POWERスイッチをONの位置にします。 POWERランプが点灯します。

聞き終わったら

POWERスイッチをOFFの位置にしてください。 POWERランプが消えます。

ウォークマンのMEGA BASSやディスクマンのBASS BOOST機能はOFFにしてください。音割れやひずみの原因になることがあります。